



東海道新幹線 「新駅」を 寒川町倉見 地区へ



Atami

Odawara

Shin-yokohama

Shinagawa

Tokyo

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

東海道新幹線新駅を誘致し、

南北ゲート

神奈川県では、全国との交流・連携の窓口として、東海道新幹線新駅による「南のゲート」を寒川町倉見地区に誘致するとともに、リニア中央新幹線県内駅による「北のゲート」を相模原市内に設置するため、それぞれ期成同盟会を設立して、要望活動や普及啓発活動に取り組んでいます。

県央・湘南地域の特性

県の中央部に位置する「県央・湘南地域」は面積及び人口において本県全体の約3割を占めており、さまざまな産業や研究機関などの集積が進んでいます。

また、丹沢山系や相模川、湘南海岸など豊かな自然が広がる、観光資源に恵まれた地域もあります。

東海道新幹線新駅の誘致（南のゲート）

県央・湘南地域に位置する寒川町倉見地区に「東海道新幹線新駅」の誘致が実現すると、全国の都市との交流・連携が飛躍的に高まり、交通の結節地域となります。

県では、県中央部10市町及び経済団体などと「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会」を設置し、寒川町倉見地区への新駅誘致に取り組んでいます。



N700A系

リニア中央新幹線 - 県内駅の設置（北のゲート）

「リニア中央新幹線」は、品川駅を起点として、名古屋駅を経て、大阪市を終点とする延長約438kmの新幹線です。

時速500kmで走行する超電導リニアを導入して、品川・名古屋間を約40分、品川・大阪間を約1時間で結ぶ計画で、県内では、相模原市緑区の橋本駅南側地下に駅が設置されます。



東海道新幹線新駅の可能性を高めるリニア中央新幹線

【新駅設置に向けた最大の課題】東海道新幹線の列車ダイヤに余裕がない。



リニア中央新幹線が開業する。

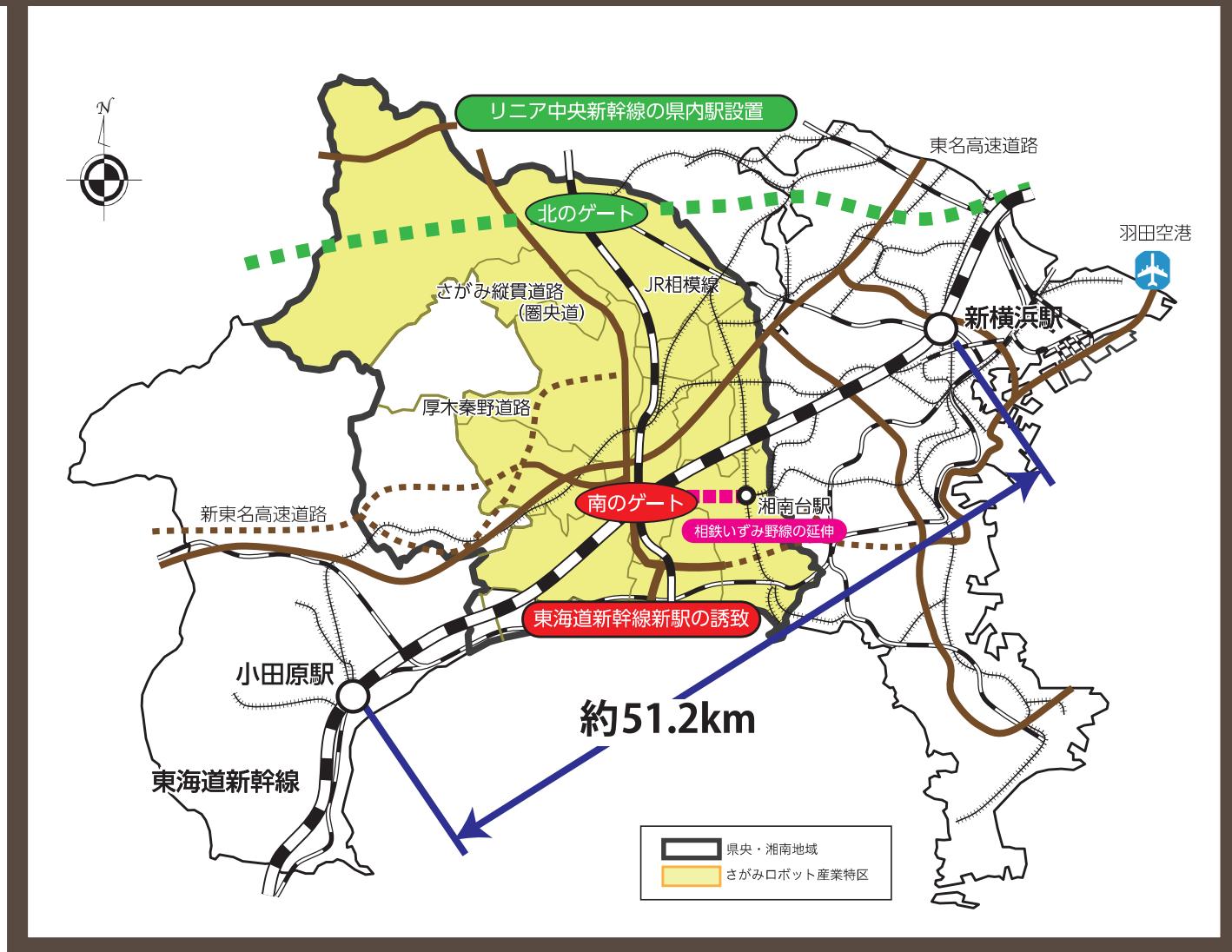
現在「のぞみ」が担っている役割がリニア中央新幹線に移行することで、東海道新幹線の列車ダイヤの構成に余裕が生じる。



新駅設置に向けた最大の課題が解決する。

東海道新幹線新駅設置の可能性が高まる。

南北ゲートの実現を



東海道新幹線新駅ができる見込み

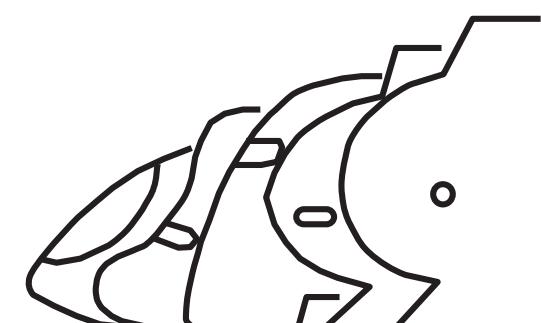
平成30年度神奈川県鉄道輸送力増強促進会議における東海道新幹線新駅設置の要望に対し、JR東海から「中央新幹線が開業し、東海道新幹線のダイヤ構成に余裕が生まれれば、新駅設置の余地が高まる」との回答をいただきました。

すでにリニア中央新幹線は開業に向け沿線各地で工事が進められており、新駅設置の可能性が高まってきていると受け止めています。

長い駅間距離 その中間に新駅を

新横浜駅～小田原駅間の距離は、約51.2Km。これは東海道新幹線の中で、2番目に長い駅間距離になります。

県では、その中間に位置する寒川町倉見地区に、東海道新幹線の新駅を誘致しています。



新駅設置のさまざまなメリット

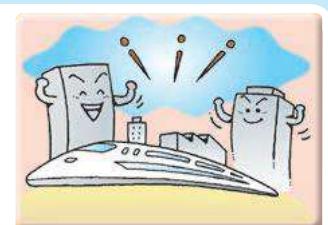
1 交通利便性 の向上

全国の主要都市への移動時間が大幅に短縮され、
交通利便性が飛躍的に向上します。



2 産業活動の 活性化

都心や他地域の都市との間が新幹線で結ばれることにより、ビジネスの機会が拡大し、
産業活動の活性化につながります。



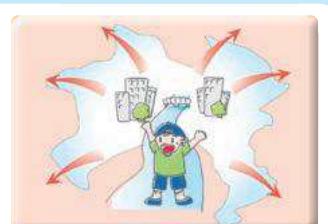
3 都市・地域 の活性化

交通利便性の高まりにより、地域の特性にあった
産業が集積し、都市の活性化が進みます。
また、商業・業務施設が集まることにより、
生活の利便性も高まります。



4 知名度の 上昇

新幹線の駅名になることで知名度が上がり、
観光客など、この地域を訪れる人が増えるほか、
文化・スポーツなどでの交流が活発になります。



新駅設置に伴う経済効果(平成19年度実施)

1. 新駅利用者数



2. 直接効果（時間短縮効果など）



3. 間接効果



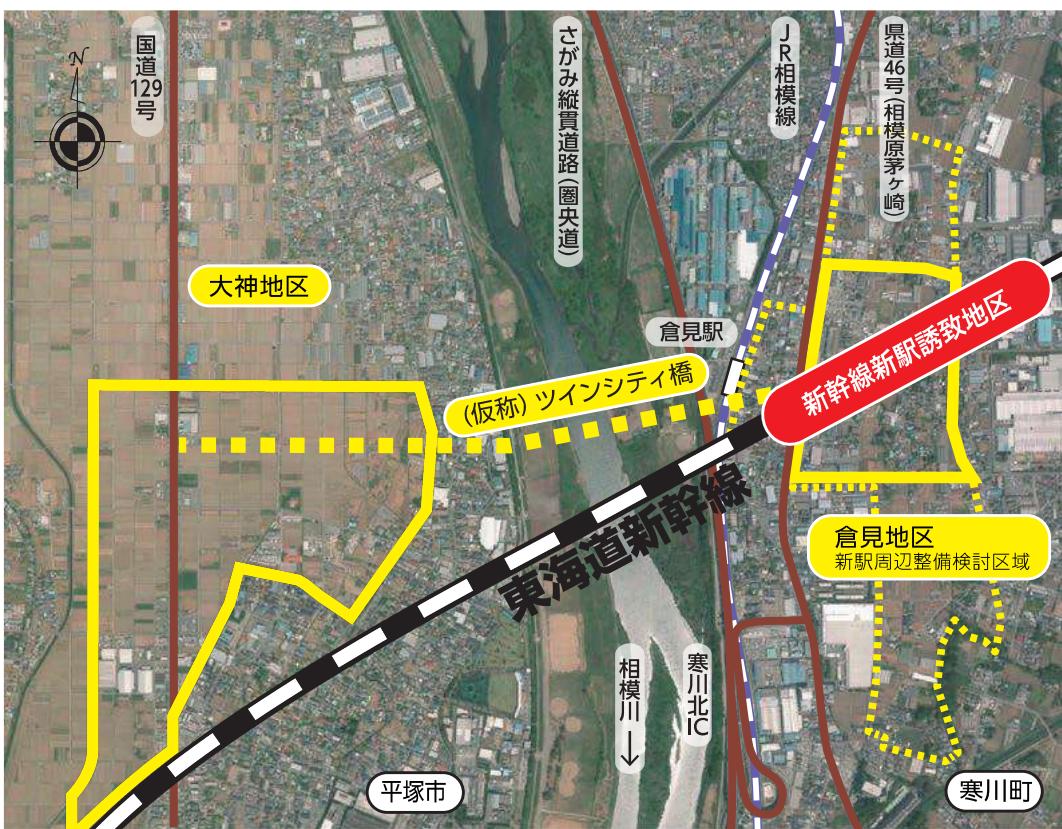
新駅利用者分布圏域図



新駅の受け皿となる「ツインシティ」のまちづくり

「ツインシティ」とは

東海道新幹線新駅を誘致している寒川町倉見地区と、相模川を挟んだ対岸の平塚市大神地区からなる、双子の新たなまちのことです。新たに、「(仮称)ツインシティ橋」を架けることにより、一体的なまちづくりを目指しています。平塚市大神地区では、平成27年8月に都市計画の決定及び変更告示と合わせて土地区画整理組合の設立が認可され、まちづくりが着実に進められています。また、寒川町倉見地区では、新駅誘致地区周辺のまちづくりについて、地元との協議が進められています。



国土地理院の空中写真(2015年撮影)を加工して作成

ツインシティのコンセプト

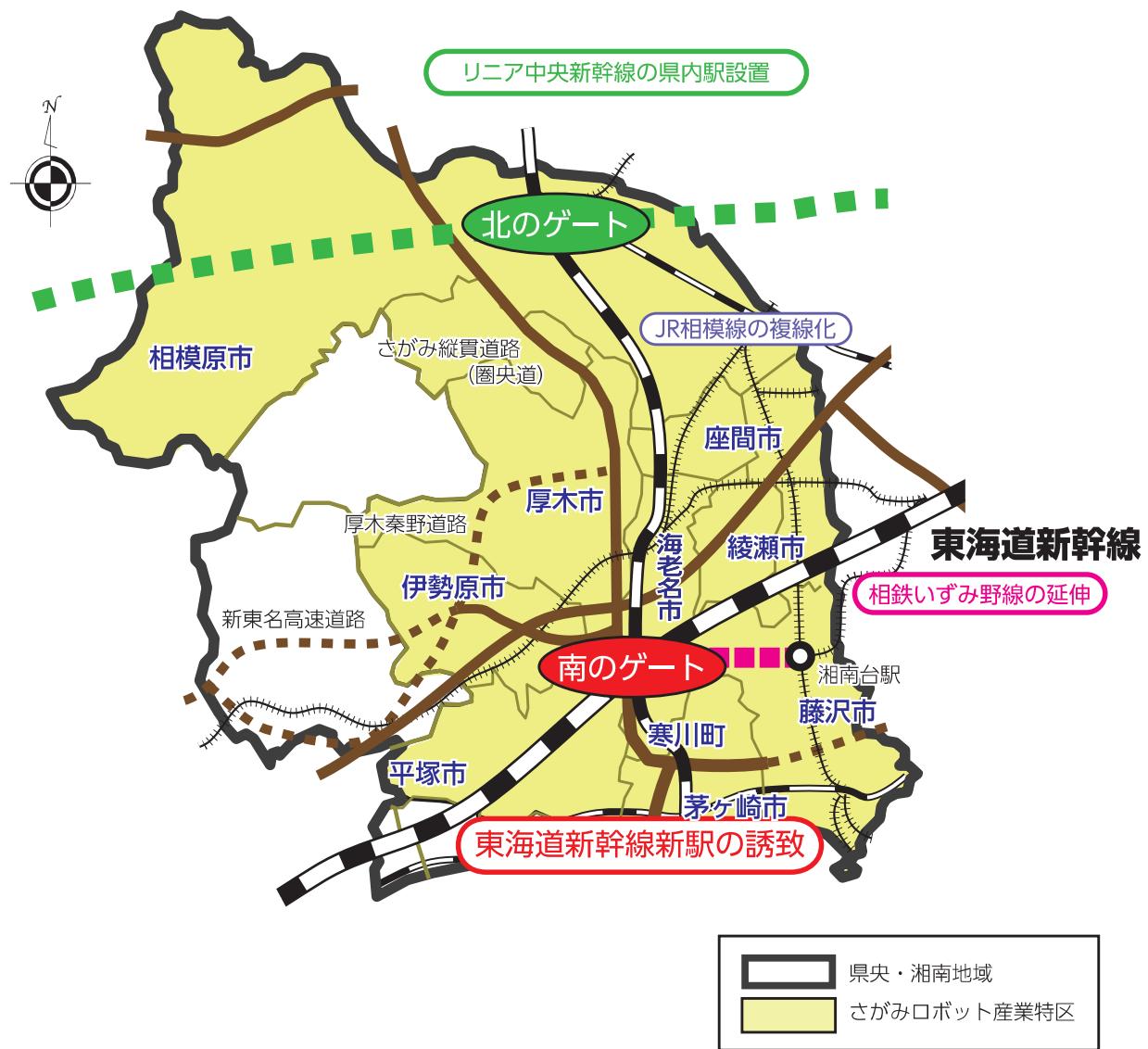
広域的な交流と連携の窓口(ゲート)となる都市

地域の環境と共生し、地球環境にやさしい環境共生都市

新しい産業を創出・育成する都市

新しい生活スタイル・ワークスタイルを実践する都市

県央・湘南地域の発展



幹線道路の整備

「さがみ縦貫道路（圏央道）」が、平成27年3月に全線開通し、圏央・湘南地域における南北軸の強化が図られました。

現在、東西軸の強化を図る新東名高速道路や厚木秦野道路などの整備が進められています。

県では、県内市町村などと連携し、これらの自動車専用道路の整備促進を図るとともに、自動車専用道路と一緒に地域の交流連携を支える幹線道路の整備に取り組んでいます。



を担う交通基盤整備

リニア中央新幹線の県内駅設置

「リニア中央新幹線」は、平成26年10月に、品川・名古屋間の工事実施計画が認可され、県内では、相模原市緑区の橋本駅南側地下に、駅が設置されることとなりました。

現在、リニア中央新幹線は開業に向け、南アルプストンネルや、品川駅、名古屋駅などで工事が進められており、また、県内においても非常口の設置に始まり、令和元年から駅の工事が進められています。

令和9年の品川・名古屋間の開業に向け、県及び県内市町村などで構成する「リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会」では、沿線自治体と連携を図りながら、国やJR東海等への要望活動や、普及啓発活動等に取り組んでいます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/gd6/cnt/f160210/>



リニア中央新幹線開業までのフロー

1973(昭和48)年11月

基本計画の決定

2011(平成23)年5月

営業主体・建設主体の指名、
整備計画の決定、建設の指示
(環境影響評価の手続き)

2014(平成26)年10月

工事実施計画の認可



2027(令和9)年(予定) 開業(品川・名古屋間)

2045(令和27)年(予定) 開業(品川・大阪間)

※ 品川・大阪間の開業については、国による財政投融資により、JR東海が最大8年間の前倒しを検討しています。

JR相模線の複線化

「JR相模線」は、南北ゲートを結ぶ重要な路線ですが、単線のため、周辺の鉄道と比較して、十分なサービスの確保ができていない現状にあります。

このため、県及び沿線市町などからなる「相模線複線化等促進期成同盟会」では、輸送力増強やスピードアップにつながる複線化の早期実現を目指して、要望活動や普及啓発活動に取り組んでいます。

<http://www.go-go-sagamisen.ecweb.jp/>



相鉄いずみ野線の延伸

「相鉄いずみ野線」は、相模鉄道本線の二俣川駅を起点に、緑園都市やいずみ野といった新市街地を経由して、小田急江ノ島線の湘南台駅に至る、延長約11.3kmの路線です。

県では、南のゲートとなる東海道新幹線新駅への交通アクセスとして、湘南台駅から倉見への延伸を目指しており、沿線の自治体や関係者とともに、検討を進めています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/r8s/cnt/f6601/p19836.html>



相模鉄道12000系

神奈川県内の東海道新幹線新駅誘致に向けた取組みの歴史

1964
昭和39年

東海道新幹線の開業

1975
昭和50年

「東海道新幹線仮称相模駅新設促進協議会」の設立
(相模川西側の3市と経済団体などで構成)

1991
平成3年

「東海道新幹線湘南新駅設置促進協議会」の設立
(相模川東側の9市町で構成)

1996
平成8年

「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会」の設立
相模川の東西にあった協議会を一本化

1997
平成9年

新幹線新駅の誘致地区を「寒川町倉見地区」に決定

2002
平成14年

「ツインシティ整備計画」の策定(同盟会・県)
新幹線新駅の受け皿となるツインシティの都市づくりを推進

2008
平成20年

「新幹線新駅設置に伴う経済効果推計調査結果」の公表(県)



神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会の活動

総会

新幹線新駅誘致に関する要望活動などの取組みを決定

要望

新幹線新駅の早期実現を図るため、JR東海、県内選出国会議員、国に対する要望活動の実施

絵画コンクール

新幹線新駅誘致の取組みのより広い浸透を図るため、小学生を対象にした絵画コンクールの実施

普及・啓発

横断幕・懸垂幕の掲出、環境と共生する都市づくりニュースの発行などを通した普及・啓発の実施

3同盟会
共催事業

新幹線新駅誘致の取組みのより深い理解を得るために、リニア同盟会及び相模線同盟会と連携した事業の実施

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

神奈川県	都市部環境共生都市課	045-210-6033(直)
相模原市	まちづくり計画部交通政策課	042-754-1111(代)
平塚市	都市整備部都市整備課	0463-23-1111(代)
藤沢市	計画建築部都市計画課	0466-25-1111(代)
茅ヶ崎市	都市部都市政策課	0467-82-1111(代)
厚木市	まちづくり計画部都市計画課	046-223-1511(代)
伊勢原市	都市部都市政策課	0463-94-4711(代)
海老名市	まちづくり部都市計画課	046-231-2111(代)
座間市	都市部都市計画課	046-255-1111(代)
綾瀬市	経営企画部企画課	0467-77-1111(代)
寒川町	拠点づくり部倉見拠点づくり課	0467-74-1111(代)
神奈川県市長会		045-664-7453
神奈川県町村会		045-664-7454
神奈川県商工会議所連合会		045-671-7481
神奈川県商工会連合会		045-633-5080

新幹線新駅誘致活動については、ホームページをご覧いただけます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/r8s/sinkansenkurami.html>



神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会(事務局: 神奈川県国土整備局都市部環境共生都市課)

〒231-8588 横浜市中区日本大通1 電話 045-210-6033(直) FAX 045-210-8879

E-mail (上記ホームページの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。)

令和2年3月改訂